



福井循環器病院連携通信

2018.秋
第15号



福井循環器病院は、
(財)日本医療機能評価機構が定める認定基準を達成していることを
証する認定証の交付(平成25年1月18日付)を受けています。

理念

私たちは いついかなる時も
自分たちの持てる力を 充分に発揮し
最先端の医療を 提供できる様に 常に研鑽を積み
患者さんに豊かな人生を 提供いたします



地域医療連携室
室長 大里 和雄

医療人材の確保・育成

諸先生方におかれましては、ますますご清栄の段、お喜び申し上げます。

平素は福井循環器病院に対しまして、格別のご指導とご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。本年4月から現在の超高齢化社会における2025年問題を見据えた地域医療構想が策定され、病院完結型の医療から地域完結型の医療に転換されます。施策としては、医療機関の役割分担と連携、地域包括ケアシステム、地域医療を支える医療人材の確保・育成であります。当院は専門病院としては全国でも稀な地域医療支援病院ですが、すでに患者さんの超高齢化に伴い病院完結型は困難な状況であり入院時より退院支援を開始し、地域での医療を模索しながら診療しております。

本年3月に北陸で初めての植込み型補助人工心臓植込み手術が施行され、現在病状は安定しております。この手術は心臓移植が必要な重症心不全患者に対して、心臓移植を行うまでの“つなぎ”として行われますが、今後移植を前提としない植込み型補助人工心臓も検討されており、来年保険償還が認可されるようです。

3年前から大動脈弁狭窄症に対して経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を施行しております。今まで58例施行して合併症はほとんどなく、最高齢は97歳の元気な男性の方です。この患者さんも現在元気でお暮しのようです。最初は3時間も所要時間を要したのですが、最近はPCIよりも短時間で施行できるようになり患者さんへの負担も軽減しております。

今後とも登録医やかかりつけ医の先生方には、一層のフットワークの軽い連携強化に努め、皆さま方とともに医療の質の向上を図ることで、地域の皆さまによりよい医療を提供できるよう努力하겠습니다ので、宜しくご指導のほどお願い申し上げます。

福井循環器病院 地域医療連携室

受付時間/平日 8:30~17:00

土曜 8:30~13:00

TEL:0776-54-5761(直通)

FAX:0776-54-5977(専用)

E-mail:heart-renkei@fcvc.or.jp

※左記、受付時間以外の電話・FAXは
下記番号までお願い致します
TEL:0776-54-5660(代表)
FAX:0776-54-5977(時間外來)

〈リードがないペースメーカーが導入されました。〉

本来、ペースメーカーは電気回路と電池を組み合わせた本体と細長い電極（リード）から構成されています。通常、本体を左右どちらかの鎖骨の下側の皮膚の下に植え込み、リードは鎖骨の近くの太い血管から心臓へ挿入し、先端部を心臓に固定します。本体から電気信号が出ると、リードを介して心臓へ伝わる仕組みになっています。通常のペースメーカーはリードがありますのでリードの老朽化や断線、血管閉塞などの問題がありました。さらに、皮下のポケットにあるペースメーカーの電池本体が皮膚を圧迫してポケット部皮膚の壊死の原因になったり、そこまでいかなくとも瘦せてくるとペースメーカー電池がくっきり浮き出たりして、美容上もあまりよくありませんでした（図1）。

ペースメーカーの感染は大きな問題で、システム全抜去が必要となり、開胸手術やレーザーを用いた手術が必要で危険を伴いました。

これらの弱点を克服したものがリードレスペースメーカーです。本体は小さなカプセル型(1.75g, 1cc)をしており、電気回路や電池、電極などの全てが組み込まれており、先端に付いているハネのような部分を心臓の底に固定します。本体の電気回路から出た電気信号は、先端の電極から直接心臓へと伝わります。

適応基準は、AHA/ACC/HRS (2008) 等のガイドライン*3におけるペースメーカー適応Class IおよびIIで、VVI型ペーシングに適した患者さんです。具体的には、1) 心房細動を合併した、症状のある発作性もしくは持続性の高度房室ブロックの患者さん、2) 心房細動を合併しない、症状のある発作性もしくは持続性の高度房室ブロックで、右心房へのリード留置が困難、または有効ないと考えられる患者さん、3) 症状のある徐脈性心房細動または洞機能不全症候群で、右心房へのリード留置が困難、または有効でないと考えられる患者さん、が妥当と思われます。

電池交換に関しては、平均12.5年の予想寿命ですが、交換ではなくその隣にもう1個、さらに留置することになります。



循環器内科
大里 和雄



図1

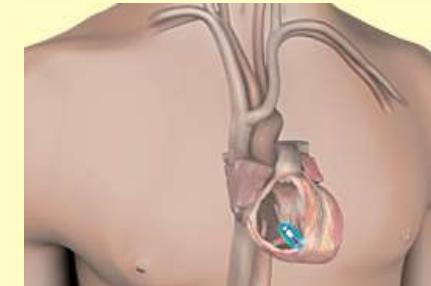


図2



〈部署紹介 医事課〉

現在、当院では男性2名、女性21名、計23名の医事課職員がおります。

医療事務を略して医事といい、主に日々外来患者さまに対する『外来関連業務』・入院患者さまに対する『入院関連業務』・医療費の請求に係る『保険請求業務』などにより構成され、これらの業務を行う病院内の部署を医事課といいます。

さて、医療制度の見直しは年を追うごとに難しくなり、不安に思うこともあると思います。

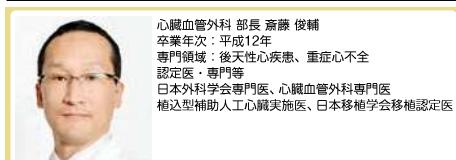
そんな中で、私たちが少しでも不安を取り除けるようにお手伝いさせていきます。

医事課は、病院玄関から左手にある受付・会計窓口・事務室等で業務を行っています。

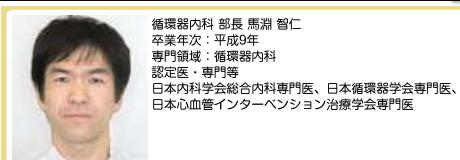
こちらでは、初・再診受付から診療費の計算・会計を担当しています。その他に書類の受渡・入院患者さんのご案内・診療費・医療制度の問い合わせなど様々な質問に対応させていただいている。また、同じく入院病棟の担当者も業務を行っており、入院患者さんの事務手続きから入院費の計算などを担当しています。その他入院費の問い合わせ、入院に関する様々な質問にも対応させていただいている。



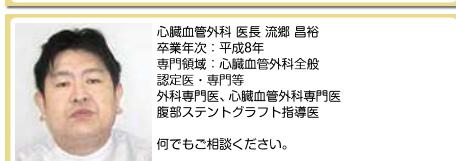
新任医師の紹介



心臓血管外科 部長 斎藤 俊輔
卒業年次：平成12年
専門領域：後天性心疾患、重症心不全
認定医・専門等
日本外科学会専門医、心臓血管外科専門医
植込型補助人工心臓実施医、日本移植学会移植認定医

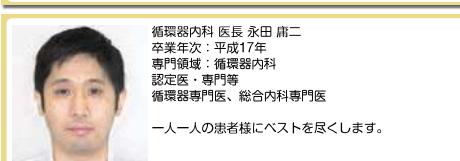


循環器内科 部長 馬淵 智仁
卒業年次：平成9年
専門領域：循環器内科
認定医・専門等
日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、
日本心血管インターベンション治療学会専門医



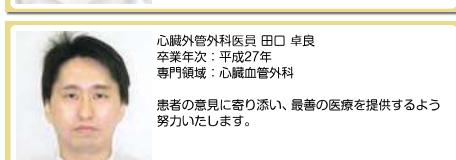
心臓血管外科 医長 流郷 昌裕
卒業年次：平成8年
専門領域：心臓血管外科全般
認定医・専門等
外科専門医、心臓血管外科専門医
腹部ステントグラフト指導医

何でもご相談ください。

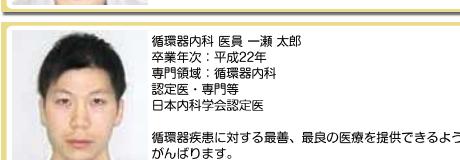


循環器内科 医長 永田 康二
卒業年次：平成17年
専門領域：循環器内科
認定医・専門等
循環器専門医、総合内科専門医

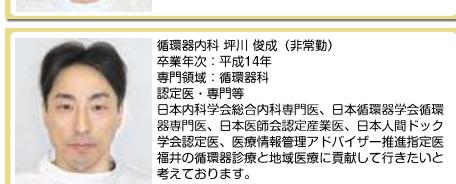
一人一人の患者様にベストを尽くします。



心臓血管外科医員 田口 卓良
卒業年次：平成27年
専門領域：心臓血管外科
患者の意見に寄り添い、最善の医療を提供するよう努力いたします。



循環器内科 医員 一瀬 太郎
卒業年次：平成22年
専門領域：循環器内科
認定医・専門等
日本内科学会認定医
循環器疾患に対する最善、最良の医療を提供できるようがんばります。



循環器内科 坪川 優成（非常勤）
卒業年次：平成14年
専門領域：循環器科
認定医・専門等
日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本医師会認定産業医、日本間接学会認定医、医療情報管理アドバイザー、推進指定医
福井の循環器診療と地域医療に貢献して行きたいと考えております。



地域開放型学習会の御案内 (当日参加も可能です)

11月1日 第6回循環器疾患の主な内服(慢性心不全の治療薬)

12月6日 第7回

- ①慢性心不全における栄養管理(栄養管理師) new!
- ②在宅における慢性心不全看護ケアについて(訪問看護師) new!

患者さんの権利

福井循環器病院で医療を受けられる患者さんには
次のような権利が保障されます。

1. 患者さんが、ひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。
2. 患者さんは、どなたでも平等かつ公平に、良質で高度な医療を継続して受ける権利があります。
3. 患者さんは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で充分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)と情報を受ける権利があります。
4. 患者さんは、説明と情報提供を受け、充分理解・納得された上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利、あるいは拒否する権利があります。
5. 患者さんは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 患者さんは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
7. 患者さんは、病院内のプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

患者さんには、良質で安全かつ効率的な
医療の提供を受けて頂くために
次のことをお願いいたします。

- ◎ご自身の健康に対する正しい情報の提供と
医療への積極的なご参加
- ◎他の患者さんの診療や職員の業務に
支障をきたさないためのご協力
- ◎療養上、必要な制約を受けることへのご理解

診療案内

診療科目

心臓血管外科、循環器内科、消化器外科
小児外科、麻酔科、外科、内科、呼吸器内科
内分泌内科(糖尿病)、小児科(小児循環器科)
眼科、放射線科、脳神経外科
リハビリテーション科、肝臓・消化器内科

診療指定

- ・保険医療機関
- ・労災保険指定医療機関
- ・労災保険二次検診等給付医療機関
- ・生活保護法指定支援医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・障害者自立支援法による指定自立支援医療機関
- ・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・地域医療支援病院

その他

人間ドック・訪問看護・居宅介護支援

保険診療届出事項

(基本診療料の施設基準)

- 急性期一般入院料1
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算
(50対1補助体制加算)
- 急性期看護補助体制加算(50対1)
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 入退院支援加算1
- 特定集中治療室管理料3
- データ提出加算2
- 呼吸器ケアチーム加算
- 入院食事療養(I)
- 開放型病院共同指導料

施設資格(認定施設)

- 胸部ステントグラフト実施施設
- 腹部ステントグラフト実施施設
- 埋込型補助人工心臓実施施設
- 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設

地域医療支援病院

医療法人 福井心臓血管センター

F 福井循環器病院



〒910-0833 福井市新保2丁目228番地
TEL.0776-54-5660(代)

- ホームページ <http://www.fcvc.or.jp/>
- Eメール heart-hospital@fcvc.or.jp